

こんにちは！いよいよ夏休みに突入しましたね。進学の方は受験勉強、就職の方は応募前見学と、高校3年の夏はお楽しみは少ないかもしれませんが上手に息抜きもしながら素敵な思い出を作ってください。

就職希望の方は求人応募先を絞り、決定していく時期ですね。少しでも参考になればと、今月は社員インタビュー特集にしてみました。皆さんと同じく10代で社会人デビューした社員です。この仕事を10代で選んだ理由から経験を積んで感じるようになった事、色々話してくれました！※文字が多いですがクサらず読んでみてください(笑)

輝くアシノビト

芦野組グループで働く「人ビト」を紹介。
土木の仕事に対する思いを聞いてみました。

Number.2

Q.建設業を選んだきっかけは？

→学校の勉強が大嫌いで「勉強苦手な自分でも出来る仕事って土木系かな」で選んだのが最初です。仕事を始めたのは10代で、正直「土木の仕事をやりたい」ってより「この仕事しかないかな」って消去法で業界に入った感じです。

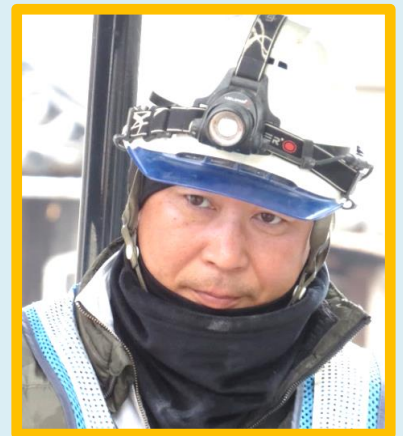
AWS	現場監督
Kさん	(25年目)

Q.土木の面白い部分を教えてください。

→工事には設計書があり、完成形・工期・予算などは最初から決められています。でも二人の現場監督がいて、同じ設計書・同じ条件でそれぞれ施工すると出来るものは違うんです。どうしてだと思いますか？

作るものは同じでも人の思いは様々で、それぞれ施工内容を工夫し、どうすればこの構造物が人の役に立てるのか、いかに早く仕上げるか、を考えるからです。作るものは設計書ありきだとしても、他の誰が作っても同じものにはならず、自分にしか作れないものが出るんです！

やればやった分だけ形になり、こだわりは品質にも繋がりますのでそれが評価された時はやっぱり嬉しいです。



Q.仕事で大変なことは？

→現場は図面通りになっていない事がほとんどです。図面通りに道路を掘ってみると水道管を埋める予定の位置に障害物があったり…仕事をする上で「段取り」が大切だと思っているのですが、障害物が出ると段取り良く進める為に倉庫で組み立てたパーツが合わなかったりするので困ります。

Q.喜びを感じるのはどんな時ですか？

→会社からは現場監督として、工事の施工から管理までを任せてもらっています。責任があり大変ですが、思うようにやらせてもらっているので「やりがい」は大きいです。

また、これからは若い世代の社員が仕事をしやすい環境を整えていく事も自分の役目だと思っています。2年目の社員と毎日同じ現場で仕事をしていますが、若い社員の成長を感じるのも喜びの一つです。社内は年齢や経験関係なく発言したり、仕事のしやすい方法を全員が提案出来る環境ですが、今以上に若い世代が活躍出来るようにサポートしていきたいと思っています。



Q.学生さんに向けてのメッセージ

→この仕事はライフラインを支える、無くてはならない仕事です。業界もどんどん進化し遠隔操作の重機なども出てきていますが、最後はやはり人の手で行うものでA Iにとって代わる事の出来ない仕事だと誇りを持っています。



工事中には近隣住民の方から感謝の言葉を頂ける事もしばしばあります。そういった声を直接聞ける事は日々の励みにもなります！勉強が苦手でもテストで良い点を取れなかった…でも自分は人と違う視点を持ってるといって、向いていると思います！

「土木＝街のお医者さん」です。
身近な地域の「普通の生活」を一緒に作りましょう！